

石川 明男 議員(市政) 多摩川四谷橋下流の河川敷では、ツバメが大集団でヨシにつかまって羽を休める「ツバメのねぐら入り」が平成27年から



▲多摩川河川敷のヨシ原

国等が調査を行っており 本市としても情報収集に努めたい

見られなくなったと聞く。ねぐらづくりに必要なヨシ原の生育が妨げられていることが大きな原因であるとのことだが、多摩川流域における自然環境の保全・保護に対する考え方を聞きたい。

一括質問

ラグビーのまち府中の推進に向け 市内に競技場を整備する考えは

観戦できる環境整備について 関係部署と協議していききたい

ラグビーのまち府中の推進に向けて、ハードとソフトの両面からどのような施策を実施する考えか。

また、ソフト面については、府中ダービーマッチやラグビーフェスティバルの開催等を通じて、トップチームの試合を観戦する機会を創出し、競

一括質問

行政文書目録検索システムを 導入する 考えは

導入している自治体の 利用状況等を踏まえて

村崎 啓一 議員(市フオ) 市では、文書管理システムの導入に向けた取組を進めているが、導入の目的について聞きたい。

一括質問

二酸化炭素排出量の削減 目標達成に向けた取組は

太陽光発電システムを 公共施設に設置するなど 環境に配慮した活動に努めている

清水 勝 議員(市フオ) 市地球温暖化対策地域推進計画では、温室効果ガスのうち二酸化炭素の排出量削減を目標に掲げているが、目標達成に向けた市の取組は。

市電の導入など、市民や事業者の行動を含めた78の個別施策を示しており、市としても、公共施設に太陽光発電システムを設置するなど、環境に配慮した活動に努めている。



▲太陽光パネル(ルミエール府中)

特定健康診査の受診期間を 延長する 考えは

今後も府中市医師会と 協議していききたい

手塚 歳久 議員(市フオ) 本市では、特定健康診査の受診期間を7月から9月までの3か月間に限定しているが、都内26市の中で2番目に短い状況である。



一問一答

障がい者が障がいを乗り越えるために ICTの活用が必要では

様々な効果が期待できるため 今後十分に活用できる取組を進めたい

須山 卓知 議員(市フオ) 障がい者が障がい乗り越えていくためには、ICTを活用する必要があります。

必要な情報の入手が容易になるほか、在宅での就業やコミユニティ活動への参加も可能になるなど様々な効果が期待できるものと認識している。

えていたため、今後も府中市医師会と協議していききたいと考えている。

ボランティアとの協働で 子どもの学習支援に取り組む考えは

ボランティアやNPO団体等との 協働による支援体制の整備を 検討していききたい

高津 みどり 議員(公明) 経済状況が厳しい家庭で育った子どもが満足な教育を受けられず、進学や就職のチャンスを見失う貧困の連鎖を断ち切るために、特に教育費の負担を軽減することは重要と考えるが、学校以外で行っている学習支援の内容を聞きたい。